



たくましい体と心
生活の自立を目指して

○はやね …低8時・中9時・高10時しゅうしんをめざそう！
○はやおき …目覚まし時計を使って、じぶんでおきよう！
○あさごはん…まいにちたべよう！

たてわり班活動

校長 亀田 親子

「雑巾の絞り方は、このようにやるよ。」「ほうきは隅の方からしっかりはいて、ゴミを集めようね。」6年生が1年生から5年生までに優しく教えながら、たてわり班で掃除をしています。教えてもらう下学年は、6年生の話をしっかりと聞きながら、きちんと役割を果たそうと熱心に動いています。「そうそう、上手。その調子。」褒められると嬉しそうな下学年、その顔を見た6年生も嬉しそうです。

これは今年度、新たにたてわり班活動の中で始めた「たてわり班掃除」の取組です。昨年度までは、遊びを中心とした活動でしたが、学校生活の中で子供たちの異学年交流の機会や場面を増やし、より良い人間関係を構築する力を高めるために始めることにいたしました。今後は、緑野小学校での統一した掃除の仕方も考えながら、学級・学年が変わっても、児童が見通しをもって清掃活動に取り組むことができるようにと考えています。

たてわり班活動では、6年生の最高学年としての采配も大切です。中には、下学年への指示がうまく出せずに、思ったより掃除に時間がかかってしまった班もあります。そのような時には、事後にリーダーの6年生が自分たちの班の活動を振り返り、次回はどうしたらもっとスムーズに活動できるか検討をします。教師は必要に応じて助言はしますが、子供たちの主体性を育むためにじっと見守ります。そして、子供たちは自分たちで考えた改善方法でもう一度やってみるのです。

この取組の中で、子供たちは自然と Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善) いわゆる PDCA サイクルを行い、活動の質を向上させていく力を身に付けていきます。この力は、たてわり班活動だけではなく、子供たちを取り巻く全ての活動・生活に役立っていくことでしょう。下学年も最高学年となった時のロールモデルを間近に見ながら、少しずつ成長していきます。たてわり班活動では、異学年交流を通して人とのつながりを広げながら、一人一人が力を発揮し、成長していく子供たちの姿を見ることが出来ます。これからのたてわり班活動も本当に楽しみです。

さて7月下旬から夏季休業に入ります。約40日間、子供たちは家庭・地域中心の生活を送ることになります。引き続き、夏季休業中も子供たちの様子を見守っていただくようお願い申し上げます。